

根釧の経済概況（令和 8 年 3 月末基準）：根室管内

水産：根室管内の水揚量は24千tで前年同期比8.3%増加、金額は141億71百万円で同比13.4%の増加。

①根室管内総水揚高（各年度 1～3 月）

根室市			根室管内 3 町		根室管内合計			
	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R8	5,373	3,636	19,534	10,541	24,907	+8.3%	14,177	+13.4%
R7	4,638	2,879	18,354	9,617	22,992	+16.6%	12,496	+81.0%
R6	4,127	2,489	15,579	4,413	19,706	▲30.3%	6,902	▲15.0%
R5	6,295	2,100	21,995	6,029	28,290	+15.8%	8,129	+16.2%
R4	4,879	2,067	19,551	4,925	24,430	▲14.6%	6,992	▲8.3%

②スケソウダラ漁(羅臼 各年度1～3月)

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	単価(円/kg)
R8	1,585	▲44.4%	259	163
R7	2,855	▲17.1%	389	136
R6	3,446	▲20.9%	402	116

■羅臼のスケソウ漁は数量1,585t、金額259百万円でともに前年比減少。数量は約44%の大幅な減少、単価が前年より30円近くも上昇した。
■標津・野付のホタテ漁は、数量13,915t、金額が8,820百万円で前年同期比で数量・金額ともに増加。海外からの引き合いは依然として強く、前年同様に高値基調となっている。シケも少なかったことから順調に出漁ができ、空見も少なく安定した数量を確保できた。

③ホタテ漁(野付・標津 各年度1～3月)

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	単価(円/kg)
R8	13,915	+23.9%	8,820	634
R7	11,224	+36.0%	7,971	710
R6	8,247	▲26.6%	2,981	361

④コマイ漁(野付・標津 各年度1～3月)

	数量(t)	金額(百万円)	単価(円/kg)
R8	38	7	189
R7	12	1	83

酪農：根釧管内の生乳生産量は前年同期比で増加、地区別でも全道各地で増加。

根釧管内生乳生産量（各年度4～3月）

年度別	数量(t)	前年比
R7	1,376,972	+0.9%
R6	1,363,919	+1.3%
R5	1,345,263	▲2.0%
R4	1,374,039	▲3.0%

地区別	数量(t)	前年比
全道	3,995,552	+1.0%
十勝	1,303,050	+1.7%
北網	604,152	+1.3%
釧路	533,223	+2.0%
根室	843,749	+0.2%

○R7年度根室管内月別伸び率(前年同月比・%)

R7	10月 ▲1.2%	11月 ▲1.6%	12月 ▲0.5%
R8	1月 ▲1.7%	2月 ▲1.3%	3月 0.0%

生乳生産量（4～3月）※生乳生産量はホクレン調べ

■R7年度根室・釧路管内の生乳生産量は、数量1,376,972t、前年同期比0.9%の増加。全道地区別でもすべての地区で前年よりも増加した。根室管内の下半期月別にみると、R8年3月のみ前年同水準で、それ以外の月が前年比減少で推移した。

根釧管内の上半期は、粗飼料の質が良く個体乳量も伸び、近年の暑熱対策の強化から乳牛へのダメージも少なく前年比でプラスで推移したが、下半期は離農が増えたことで乳牛頭数が減少し、前年数量を割る生産量となった。管内でも離農状況や粗飼料の質にはバラつきがみられる。コストの高止まりから増産体制に踏み切る農家が少ないのが現状。

今後の需給動向等

■中東情勢悪化の影響による会場運賃の上昇や外国為替が円安になっていること、とうもろこしや大豆などの定期上昇がみられることから飼料原料の価格高騰に繋がっている。
根室管内では離農が多くみられるが新規就農も数件見込んでおり、畜産クラスターのさらなる活用により支援を強化し増産体制の構築を図る必要があると考えられている。
乳製品の価格上昇も避けられず、消費者の節約志向による消費の落ち込みが危惧されるが、酷暑が予想される時期における需要量と安定が求められる。

家畜取引：根室市場での取扱頭数、金額ともに前年比増加。別海市場は頭数は前年比減少、金額は同比大幅に増加。

□根室市場取引高

	取扱頭数(頭)	前年比	金額(百万円)	前年比	単価(千円)
R7	46,123	+3.2%	12,749	+30.2%	276
R6	44,684	▲4.9%	9,786	+5.1%	219
R5	47,015	+1.1%	9,304	+3.3%	197

□別海市場取引高

	取扱頭数(頭)	金額(百万円)
R7年度	6,230	1,126
R6年度	6,732	760
前年比	▲7.4%	+48.1%

□種類別価格(根室市場)

	R7年10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月
初生ホルスタイン牡 (単位：千円)	20.0	30.1	43.2	45.2	55.6	77.2
肉牛ホルスタイン経産牛 (単位：千円)	196.3	216.8	207.7	225.7	252.4	226.4

貿易：輸出、輸入ともに前年より増加したことから、総額が増加。(R8年1月～3月貿易実績・根室税関支所発表・()内前年同期比)

- 【総 額】 38億88百万円(+8.1%) 外国貿易船の入港隻数111隻(前年比▲18隻)
- 【輸 出】 0.9百万円(2.7倍)…網地：0.9百万円（前年実績なく全増） 輸送用機器：実績なし（前年は実績あったが全減）
- 【輸 入】 38億87百万円（+8.1%）…生鮮魚介類：38億75百万円（+7.7%） 冷凍魚介類：12百万円（前年実績なし）
- 輸出…輸送用機器は前年から全減したものの、網地だけで前年の輸出金額を上回った。
- 輸入…前年実績の無かった冷凍魚介類の輸入や輸入の全体を占める生鮮魚介類も前年比増加から全体総額の増加に影響した。

根釧の経済概況（令和8年3月末基準）：釧路管内

水産：釧路港1～3月は数量・金額ともに前年比増加。厚岸港も数量、金額ともに同比減少。

①釧路港総水揚げ（各年1～3月、前年比・％）

全体				
	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R8	7,781	+5.8%	1,443	+13.5%
R7	7,350	▲18.2%	1,271	+8.3%
R6	8,986	+17.5%	1,173	+27.9%
R5	7,642	▲46.7%	917	▲14.8%
R4	14,338	+6.6%	1,076	+8.1%

（うち、スケソ）				
数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減	単価(円/kg)
5,109	+49.1%	395	+47.2%	77
3,425	▲34.2%	268	▲18.7%	78
5,209	+28.4%	330	+4.6%	63
4,054	▲67.9%	316	▲51.4%	77
12,644	+11.3%	651	+13.6%	51

②釧路港魚種別水揚げ(R8年1～3月)

主な魚種	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
スケソ	5,109	+49.1%	395	+47.2%
マダラ	2,113	▲37.1%	801	▲1.8%
イカ	20	2.0倍	8	2.7倍
カレイ	178	▲30.7%	31	+9.7%
赤物	10	+25.0%	22	2.2倍
ホッケ	10	10.0倍	1	2.7倍
その他	341	+18.8%	183	+26.8%

③厚岸港水揚げ（各年度1～3月）

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R8	1,010	▲2.1%	758	▲8.1%
R7	1,032	+29.2%	825	+19.8%

④厚岸港魚種別水揚げ(R8年1～3月)

主な魚種	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
カキ	153	▲8.1%	188	▲28.6%
アサリ	239	+0.3%	224	▲3.5%
ツブ	12	+65.5%	17	▲4.7%

【釧路港水揚げ】

- 1～3月の水揚げは、7,781tで前年同期比5.8%の増加、金額は1,443百万円で同比13.5%の増加。
- ・魚種別では、マダラが数量、金額ともに前年比減少。カレイは数量が大幅に減少。スケソは数量、金額ともに大幅に増加。
- ・ホッケは全道的に資源が減少しているとみられているが、数量は前年比10倍の大幅増加。

【厚岸港水揚げ】

- 1～3月全体の水揚げは1,010tで前年同期比2.1%の減少、金額は758百万円で同比8.1%減少。主要魚種であるアサリやツブの水揚げは前年比で増加、金額は同比減少。カキは数量、金額ともに同比減少した。
- ・カキは本州において稚貝の死滅が多く、品質にバラつきが見られ、育成途中でダメになってしまうものも多い。
- ・アサリは他の産地でも数量が安定して確保できていることから、金額は落ち着いている。
- ・ツブは昨年、資源保護の観点から漁獲に規制があったことから、今年は前年比で65.5%の大幅な増加となった。

製紙：市内製紙工場のR8年1～3月の生産量は、前年同期比1.9%の減少。

観光：R7年度の観光客入込客数は、1,048千人で前年同期比1.8%の減少。

※peachは集計対象外

- 航空（道外）：306千人（前年比+6.4%）
- 阿寒湖遊覧船：76千人（前年比▲9.4%）
- 丹頂鶴自然公園：64千人（前年比▲6.1%）
- 湿原展望台：87千人（前年比▲8.0%）
- OMOO：513千人（前年比▲3.3%）

- 道内外に対する「夏の涼しさ」のアピールが強化され、夏場のスポーツ合宿誘致や長期滞在者の増加に繋がり、交流人口の増加にも寄与している。

貿易：輸出額は前年比減少、輸入は同比增加で総額は前年比並み。

(R8年1～3月貿易実績・釧路税関支署発表・（ ）内前年同期比)

- 【総額】299億40百万円（+0.0%）…釧路港外国貿易船入港隻数62隻（前年比▲12隻）
- 【輸出】22億44百万円（▲24.1%）…魚介類・同調製品が前年比で大幅に増加したものの、鉄鋼くずや動物性油脂が、同比大きく減少したことで、輸出総額も同比24.1%の減少となった。
魚介類・同調製品：6億14百万円（+38.0%）、鉄鋼くず：3億16百万円（▲65.7%）、動物性油脂：3億87百万円（▲48.8%）
紙類・同製品：4億88百万円（▲4.0%）
- 【輸入】276億96百万円（+2.6%）…魚介類・同調製品や飼料が前年同期比で減少、肥料やとうもろこし、石炭が同比增加したことから、輸入総額も増加となった。
魚介類・同調製品：11億26百万円（▲7.2%）、とうもろこし：93億14百万円（+4.2%）、飼料：57億9百万円（▲7.0%）
石炭：19億5百万円（+16.7%）、肥料：16億44百万円（+13.3%）

全国・全道の経済概況（令和8年3月末基準）

住宅着工戸数

公共工事請負高

企業倒産動向

訪日外国人延宿泊客数

全国

■R7年度4～3月は711千戸で前年同期比12.8%の減少、下半期月別ではR7年11月からR8年3月は同比減少した。内訳別では持家、貸家、給与、分譲全てが前年比減少した。

月別		
	着工戸数(戸)	前年比
R8年 3月	63,495	▲29.0%
R8年 2月	57,630	▲4.8%
R8年 1月	55,898	▲0.4%
R7年 12月	62,118	▲1.3%
R7年 11月	59,524	▲8.4%
R7年 10月	71,871	+3.1%
着工戸数(戸)		
	前年比	
R7年度4～3月	711,171	▲12.8%
内訳	持家	▲12.5%
	貸家	▲13.4%
	給与	▲0.2%
	分譲	▲12.5%

■R7年度4～3月は、23兆5705億87百万円で前年同期比5.8%の増加。下半期月別では、R7年11月とR8年1月が同比減少。R7年10月が同比30.5%と大きく増加した。

月別		
	工事請負契約額(百万円)	前年比
R8年 3月	4,650,522	+18.5%
R8年 2月	1,629,767	+4.6%
R8年 1月	855,498	▲19.3%
R7年 12月	1,914,757	+17.5%
R7年 11月	1,205,449	▲6.9%
R7年 10月	2,276,349	+30.5%
年度別		
	工事請負契約額(百万円)	前年比
R7年度	23,570,587	+5.8%
R6年度	22,265,613	+6.3%
R5年度	20,940,728	▲2.7%

■R7年度の倒産件数は10,425件で前年比3.5%の増加、負債額は1兆5,537億円で同比31.0%の減少。件数が1万件を超えたのは2年連続。中小零細規模の倒産が増加した。小売業やサービス業の倒産が目立ち、最多を更新した。

年度別推移 (金額単位：億円)				
	件数(件)	前年比	負債額	前年比
R7	10,425	+3.5%	15,537	▲31.0%
R6	10,070	+13.3%	22,525	▲7.4%
R5	8,881	+30.6%	24,344	+4.1%
R4	6,799	+14.9%	23,385	+97.7%
R3	5,916	▲19.1%	11,828	▲2.8%

■全国のR7年度上半期の延宿泊客数は7,559万2千人で前年比11.3%の増加。月別ではR7年7月のみ同比減少、それ以外の月は同比增加。国籍別では中国が最も多く、台湾、アメリカと続き、上位3カ国で約45%を占める。アジア圏のみならず、欧米豪からの訪日外国人の実数も増加。

R7年度 上期月別推移			R7年度別推移 (4～9月) 国籍別		
月	(千人)	前年比	国籍	(千人)	シェア
9月	10,864	+8.0%	中国	16,100	21.2%
8月	11,798	+9.4%	台湾	9,421	12.4%
7月	11,856	▲3.0%	アメリカ	9,000	11.9%
6月	12,330	+9.7%	韓国	7,693	10.1%
5月	13,716	+21.5%	香港	2,821	3.7%
4月	15,025	+22.1%	オーストラリア	2,671	3.5%
上期計	75,592	+11.3%	イギリス	1,844	2.4%
●年度別推移 (4～9月)			シンガポール	1,510	1.9%
R7	75,592	+11.3%	その他	24,529	32.4%
R6	67,894	+41.3%	上期合計	75,592	100%

全道

■R7年度4～3月は22千戸で前年同期比26.6%の減少。下半期月別はR8年1月のみ同比大幅増加、それ以外の月は同比減少。内訳別では、給与と分譲が同比增加となった。

月別		
	着工戸数(戸)	前年比
R8年 3月	1,871	▲52.7%
R8年 2月	1,326	▲5.2%
R8年 1月	1,596	+58.4%
R7年 12月	1,718	▲18.0%
R7年 11月	2,146	▲24.9%
R7年 10月	2,469	▲3.6%
着工戸数(戸)		
	前年比	
R7年度4～3月	22,182	▲26.6%
内訳	持家	▲17.2%
	貸家	▲40.3%
	給与	+38.9%
	分譲	+19.6%

■R7年度は1兆1943億90百万円で前年比3.9%の増加。発注機関別では全ての機関で前年比増加。特に地方公社は同比2.2倍と大幅に増加。

年度別		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
R7年度	1,194,390	+3.9%
R6年度	1,149,538	+8.7%
R5年度	1,057,456	+12.0%

発注機関別 (R7年度4～3月)		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
国	276,522	+5.9%
独立行政法人等	238,791	+11.0%
北海道	241,048	+7.2%
道内市町村	345,663	+6.3%
地方公社	8,340	2.2倍

■R7年度の倒産件数は277件で前年同期比8.6%の増加、負債高は393億円で同比6.4%の減少となった。業種別では小売業が3年連続の最多となっており、消費者の購買行動による影響が大きかった。インフレや後継者難などに起因する倒産が散見された。

年度別推移 (金額単位：億円)				
	件数(件)	前年比	負債額	前年比
R7	277	+8.6%	393	▲6.4%
R6	255	▲1.1%	420	+24.7%
R5	258	+25.2%	337	+7.5%
R4	206	+45.0%	313	+62.5%
R3	142	▲15.9%	193	▲6.9%

■R7年度上半期の延宿泊客数は、4,171千人で前年比16.7%の増加。月別では全月で前年比を上回った。国籍別では上位4か国をアジアが占め、全体の約7割を占める。クルーズ船寄港の増加や、各地のイベント開催の活発化が図られたことから、道全体で増加した。

R7年度 上期月別推移			R7年度別推移 (4～9月) 国籍別		
月	(千人)	前年比	国籍	(千人)	シェア
9月	578	+9.8%	韓国	1,080	25.8%
8月	799	+9.9%	台湾	1,004	24.0%
7月	933	+15.9%	中国	538	12.9%
6月	703	+16.8%	香港	233	5.6%
5月	599	+21.6%	アメリカ	207	4.9%
4月	554	+32.5%	シンガポール	166	3.9%
上期計	4,171	+16.7%	タイ	124	2.9%
●年度別推移 (4～9月)			フィリピン	57	1.3%
R7	4,171	16.7%	その他	757	18.1%
R6	3,573	36.4%	上期合計	4,171	100%

根釧の経済概況（令和8年3月末基準）

住宅着工戸数

公共工事請負高

企業倒産動向

訪日外国人延宿泊客数

根室

■R7年度は22戸で前年比16戸の減少。利用別にみると持家が前年から大幅に減少、貸家は前年から大幅に増加した。

□根室市住宅着工戸数

月別			
	戸数(戸)	前年比(戸)	前年比
R8年 3月	0	▲6	▲100.0%
R8年 2月	0	▲3	▲100.0%
R8年 1月	1	▲1	▲50.0%
R7年 12月	8	+7	8.0倍
R7年 11月	0	▲3	▲100.0%
R7年 10月	2	0	前年同数

年別・利用別						
各年度（4～3月）	持家	貸家	給与	分譲	合計	前年比
R7	12	10	0	0	22	▲42.1%
R6	34	3	0	1	38	▲54.7%
R5	34	46	2	2	84	+7.6%

■R7年度4～3月は251億58百万円で、前年比3.9%の減少で2年連続の減少となった。管内においては海岸や漁港にかかる保証工事が多く、次いで、道路の舗装や橋梁工事がいくつかあった。大型工事としては一昨年、開庁した根室市の新庁舎への整備工事があった。

年度別		
各年度（4～3月）	前払保証請負額(百万円)	前年比
R7	25,158	▲3.9%
R6	26,192	▲4.7%
R5	27,498	+13.6%
R4	24,193	+0.6%
R3	24,035	▲11.5%
R2	27,166	▲9.1%

■R7年度根室管内の倒産件数は5件、負債額は299百万円で、件数、金額ともに前年から増加した。うち根室市は、倒産件数が3件、負債額は238百万円。倒産要因は販売不振となっている。

年度別				
【根室管内】			【うち、根室市】	
各年度(4～3月)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
R7	5	299	3	238
R6	2	252	0	0
R5	5	1,377	2	1,192
R4	3	379	2	64
R3	1	13	0	0

■R7年度上期の訪日外国人延宿泊客数は8,615人で前年比10.8%の増加。上期は9月以外が前年比増加しており、国籍別では、台湾、中国が多く2か国で半数以上を占める。国籍別10位以内に、アメリカ、イギリス、オーストラリアの欧米の国々が上位に来る特徴がある。

R7年度 上期月別推移			R7年度 (4～9月) 国籍別		
月	(人)	前年比	国籍	(人)	シェア
9月	1,275	▲9.9%	台湾	2,706	31.4%
8月	1,658	+1.2%	中国	2,153	24.9%
7月	2,120	+28.2%	アメリカ	559	6.4%
6月	1,761	+8.5%	韓国	453	5.2%
5月	1,317	+17.1%	香港	342	3.9%
4月	484	+52.6%	シンガポール	317	3.6%
上期計	8,615	+10.8%	オーストラリア	280	3.2%
●年度別推移(4～9月)			イギリス	178	2.0%
R7	8,615	+10.8%	その他	1,627	18.8%
R6	7,771	+47.4%	上期合計	8,615	100%

釧路

■R7年度は304戸で前年比99戸の減少。持家、貸家は前年から大幅に減少した。2年連続の減少。

□釧路市住宅着工戸数

月別			
	戸数(戸)	前年比(戸)	前年比
R8年 3月	12	▲24	▲66.6%
R8年 2月	34	+22	2.8倍
R8年 1月	16	+4	+33.3%
R7年 12月	17	▲44	▲72.1%
R7年 11月	8	▲31	▲79.4%
R7年 10月	29	+6	+26.0%

年別・利用別						
各年度（4～3月）	持家	貸家	給与	分譲	合計	前年比
R7	142	132	1	29	304	▲24.5%
R6	203	171	1	28	403	▲18.7%
R5	223	234	1	38	496	+7.3%

■R7年度4～3月は509億12百万円で、前年比7.2%減少。釧路管内の漁港や港湾、道路の舗装や橋梁工事が目立った。学校文化施設への保証工事も数件見られた。大型工事に特に目立った動きはなかった。

年度別		
各年度（4～3月）	前払保証請負額(百万円)	前年比
R7	50,912	▲7.2%
R6	54,898	+16.9%
R5	46,934	+13.2%
R4	41,426	▲5.8%
R3	43,979	▲13.1%
R2	50,663	+7.8%

■R7年度釧路管内の倒産件数は26件、負債額は1,582百万円で前年から件数、金額ともに増加した。うち釧路市は件数17件、負債額は953百万円で前年から件数は減少したが、負債額は増加。

年度別				
【釧路管内】			【うち、釧路市】	
各年度(4～3月)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
R7	26	1,582	17	953
R6	21	974	20	891
R5	17	1,087	14	794
R4	11	2,895	7	1,914
R3	9	993	8	906

■R7年度上期の訪日外国人延宿泊客数は83,005人で、前年比26.3%の増加。上期全月で前年比増加。国籍別では、上位5か国に東アジアの国が連なり、その中でも台湾は4割近くを占めている。アメリカやフランス、オーストラリアなど欧米豪も増加傾向にあり、ATの周知が進んでいるとみられる。

R7年度 上期月別推移			R7年度 (4～9月) 国籍別		
月	(人)	前年比	国籍	(人)	シェア
9月	13,710	+27.2%	台湾	32,303	38.9%
8月	16,495	+26.6%	中国	10,777	12.9%
7月	19,422	+19.5%	シンガポール	4,708	5.6%
6月	14,477	+27.0%	香港	4,668	5.6%
5月	13,950	+24.6%	韓国	4,420	5.3%
4月	4,951	+59.5%	アメリカ	3,763	4.5%
上期計	83,005	+26.3%	オーストラリア	1,646	1.9%
●年度別推移(4～9月)			フランス	1,415	1.7%
R7	83,005	+26.3%	その他	19,305	23.2%
R6	65,680	+15.4%	上期合計	83,005	100%